

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 令和6年 5月 31日

事業所名： 放課後等デイサービス きゃび

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	7			・屋内・屋外とも環境は整っています。	22				・とても広々としていて、安全に過ごせる。	・屋内：個別課題、集団活動、相談室、静養室のスペースを確保しています。 ・屋外：屋根付きの人工芝スペースがあり、自由に運動ができる環境が
	2 職員の適切な配置	7			・職員の人数、適切な配置になっています。	14			8	・十分だと感じる。 ・自分自身が先生方の専門性等を理解していない。	・今後も利用人数に応じて職員の配置を調節していきます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がい者の特性に応じた設備整備	7			・車椅子でも可能なトイレ、室内はバリアフリーとなっています。 ・玄関の段差は必要に応じてスロープを設置する準備ができています。	20			2		・基本的にバリアフリー化されており、必要に応じて段差解消の為にスロープを用意しております。視覚支援で認識できるよう配慮し、必要に応じて整備を行っています。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	7			・施設の清掃、消毒等の環境整備をしています。	21			1	・建物が新しく、清潔で快適。	・毎日清掃を行い、定期的におもちゃや備品の消毒を行っております。 ・食事の際は必ず消毒を行い、感染対策も徹底しております。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）への職員の積極的な参画	6	1		・毎日朝礼でミーティングを行い、振り返りを行っています。						・今後も継続していきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施			7	・第三者委員会の設置はしていません。						・第三者委員会の設置はしていません。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	7			・各必要な研修、資格取得の為に研修を確保しています。						・各必要な研修、資格取得の為に外部の研修の参加、ZOOM等のオンライン研修に参加しております。今後も研修機会を確保していきます。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	7			・児童発達支援管理責任者を中心に作成しています。	21			1		・児童発達支援管理責任者が中心となりモニタリング、アセスメントを行い情報をもとに計画を作成しています。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	7			・同上	20			2		・同上
	3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	7			・同上						・同上

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
関係機関との連携（続き）	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備										
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	6	1		・定期的に情報共有を行っています。						・今後も積極的に情報共有を行えるよう努めています。
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	7			・定期的に支援会議に参加し、情報提供を行っています。						・同上
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	7			・研修等があれば受講するようにしています。						・今後も積極的に受講していきたいと思えます。
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	4	2	1	・公共の施設(公園等)に行くことはあるが交流する機会は少ないです。	8	1	1	12	・障害のない子どもというのは中々ないと思うが、色々なイベントで様々な人と交流する事は出来ていると思う。	・公共の施設(公園等)に行く機会はあるが、交流する機会は少ない為、今後は交流を増やせるよう検討していきます。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営			7	・シルバーの方やボランティアの方の交流は行っています。						・今後も地域住民との交流等の機会作りに努めていきます。
	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	7			・支援内容(活動)は利用毎に説明しています。 ・運営規定、負担額は変更時に説明しています。	22					・今後も継続していきます。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	7			・同上	22					・同上
保護者への説明責任・連携支援	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	3	3	1	・施設での支援方法などは伝えていきます。	13	1		8	・ペアレント・トレーニングという言葉あまり聞いたことがなかった。	・今後も支援方法の伝達を継続していきます。
保護者への説明	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	7			・送迎時やシステムを利用して、状況等を情報共有しています。	19	2		1	・学校で行われる支援計画に出席してもらい情報共有している。	・今後も継続して送迎時、システムでの伝達方法を職員間で統一出来るよう努めていきます。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	7			・施設での様子や対応方法など、問題点に応じて対応しています。	18	2		2		・問題点に応じ適切な助言、対応が出来るよう情報共有し、今後も相談しやすい環境を整えられるよう心掛けていきます。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援		3	4	・保護者会や活動の支援は行いません。	6	1	3	12	・イベントで他の親御さんに会うことがあるが、自身は他の保護者の方と交流等はない。	・今後も保護者会の開催を検討していきたいと思えます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
責任・連携支援（続き）	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	7			・対応体制は整備済みです。苦情窓口を設置しており、対応しています。	12	2		8	・今までそのような状況になったことがないので「わからない」にした。	・苦情窓口を設置しており、今後も適切に対応していただけるよう努めていきます。
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	6	1		・一日の流れや要求等を視覚化し、必要に応じて意思疎通できるよう作成しています。 ・送迎時、システムを利用して情報共有を行っています。	19			3		・今後も児童、保護者共に意思疎通、情報共有を行えるよう継続していきます。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	7			・システムやインスタグラム、月の予定表を通じて日々の様子や毎月の予定を発信しています。	19			3	・毎回アップされるのを楽しみにしている。 ・アプリで子ども様子や活動内容が見れて良い。 ・HUGがあるのはすごくいいなと思う。	・今後もシステムによる日々の様子、SNSの更新を継続し、児童の様子を発信していきます。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	7			・SNS等での写真を使用する際は了承を得た上で、十分に注意して発信しております。	18		1	3	・今後慎重にお願いしたい。	・配布物の確認を徹底し、書類、写真データの取り扱い、管理を十分に注意していきます。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	7			・各マニュアルを策定しており職員に周知しています。	14	2		6	・対応の説明はされていると思うが、自身がマニュアルを覚えていない。	・職員間で周知しており、今後は保護者へ十分な周知を行って行けるように努めます。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	7			・建物全体での定期的な避難訓練と年に数回消防署立会いの元訓練を実施しています。	11			11		・今後も継続し職員間でのマニュアルの周知、必要な訓練を行っていきます。
非常時等の対応（続き）	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	7			・マニュアルを職員に周知、委員会の設置、研修機会を確保しています。						・今後も継続して研修機会を確保していきます。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	7			・現在拘束事例はないが、対象となる可能性がある児童には事前に保護者から了承を得た上で計画書に記載し、同意書を頂いています。						・今後も事前に十分な説明を行い、了承を得た上で計画書に記載していきます。 ・上記を踏まえた上で必要であれば同意書を頂いております。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	6	1		・医師の指示書はなく、ご家族からの情報提供で対応しております。						・保護者からの情報を職員間で共有し、イベントなどで食事を提供する際には再度確認し、対応しております。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	7			・月に1度は必ず作成し、共有しております。						・今後も継続して作成し、共有を徹底していきます。